

講座
30

いま世界遺産がわれわれに語ること ～何を受け継ぎ、何を伝えるか？～

オンライン併用

【会場定員】150名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『エクセレント』エクセレントⅢ 【時間】 毎回 14時00分～15時30分 (計12回)

概要

一度は訪れたい世界遺産。その歴史や魅力を楽しみながら、さらに一步、踏み込んで、いくつかの世界遺産が、現在登録抹消の危機にあります。華やかな美しさの裏に潜む問題の解明を通して、現在の世界を広い視野で考えることが、この講座の目的です。(2023年8月22日に「外務大臣表彰」を受賞された日高健一郎先生によるご講義です。)

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(火)	新百合21 ビルB2 多目的 ホール	序論 世界遺産の歴史と現在そして「未来共生」への展望	筑波大学名誉教授 日高 健一郎
2	4/16(火)		建築遺産が伝えること (1) 聖なる空間としての教会堂(サンピエトロ聖堂、ハギアソフィア大聖堂ほか)	
3	5/14(火)		建築遺産が伝えること (2) 栄華の残照(ヴェルサイユ宮殿、アルハンブラ宮殿)	
4	5/28(火)		建築遺産が伝えること (3) 人間と時間(ガウディとサグラダ・ファミリア聖堂、森の墓地ほか)	
5	6/11(火)		文化的景観としての世界遺産：自然の中の人間 (米とワインを例にして、アジアの棚田、ヨーロッパの果樹園など、生きている自然、生きている人間の共生について)	
6	6/25(火)		国境を超える世界遺産 (線として伸びる世界遺産:測地弧、道などスケールの大きな遺産を紹介する)	
7	7/2(火)		人はなぜ建てるのか (柱と壁は、東洋と西洋でどう違うか、組積造と木造の塔を比較すると何がわかるか)	
8	7/16(火)		危機遺産(1)地域紛争と世界遺産 (バーミヤン大仏、ドゥブロブニク、アンコール遺跡などを例として)	
9	7/30(火)		危機遺産(2)環境破壊、温暖化、過剰観光と世界遺産 (アジア、南北アメリカ大陸、および国内の世界遺産を例として)	
10	8/6(火)		新たな世界遺産に向けて(1)教育遺産の可能性 (足利学校をはじめ、国内外の教育の場とその歴史的価値について、世界遺産の保護には、何が大切かを考える)	
11	8/20(火)		新たな世界遺産に向けて(2)人権、教育、平和構築・維持のツールとしての役割	
12	8/27(火)		結論 質疑と討論、まとめ	